

## 研究機関名：東北大学

受付番号： 2014-1-155
研究課題名 I-123 Metaiodobenzylguanidine 心筋シンチグラフィにおける高精度 ROI 法の開発 および神経変性疾患における心臓交感神経機能障害の検出感度向上を目指した研究
研究期間 西暦 2013 年 7 月（倫理委員会承認後）～ 2014 年 1 2 月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 ) <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 ) <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 ■その他（I-123 Metaiodobenzylguanidine 心筋シンチグラフィ画像データ）
上記材料の採取期間 西暦 2011 年 4 月～ 2014 年 3 月
意義、目的 I-123 Metaiodobenzylguanidine（以下、MIBG）では心臓交感神経の障害を判定できるが、最近では神経変性疾患である Parkinson Disease（以下、PD）において高率に心臓の MIBG 集積低下が診られることが明らかとなり、PD と他のパーキンソニズムとの鑑別に広く用いられている。だが早期 PD 症例では MIBG 心筋シンチグラフィで異常が検出されない場合が多く、早期診断にはあまり有用でないという問題点も明らかになってきている。 今回我々は、高精度 Region of interest(以下、ROI)法を開発することで、早期 PD における交感神経機能異常の検出感度を向上させようとしている。
方法 パーキンソニズムにおける心臓交感系神経機能障害の検査目的で MIBG 心筋シンチグラフィが行われた患者の画像データを用いて高精度 ROI 法による解析を追加し、これによって診断精度が向上するかを後方視的に探索する。
問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学大学院医学系研究科 高次機能障害学分野 馬場 徹 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1 医学部4号館4階 Tel: 022-717-7358 Fax: 022-717-7360